



東北地区初の最新CIを採用した「イデアル マセラティ・ショールーム」オープン

東北地区初の最新CIを採用したマセラティ認定ショールーム「イデアル マセラティ・ショールーム」が仙台市にオープン。エレガントな雰囲気のあるショールームには、マセラティ車両を展示し、マセラティ/フェラーリのグッズも販売。東北初のフェラーリ社/マセラティ社認定サービス工場も併設する。住所：宮城県仙台市泉区七北田字29-1 ☎022-776-9311



オリジナル高級フェイスタオルが当たる! BORBET サンクス フェア開催中!

ドイツ・ボルベットの日本総代理店として輸入販売を行なうタルガでは、現在BORBETサンクスフェアを開催中。ボルベットのアルミホイール(全商品が対象)を1台分(4本)購入された方、先着3000名に、ドイツ・MOVE(ムーヴェ)社製の高級フェイスタオルに、ボルベットロゴが刺繍された、オリジナルフェイスタオルをプレゼント。



関東エリアに初登場!! オリックス自動車「プレミアム・ユーズド・カー」オープン

<http://www.orix.co.jp/ucar/>

「プレミアム・ユーズド・カー」とは、2~3年レンタカーとして運用したクルマを中古車として個人向けに販売するもの。レンタカーとして利用したクルマだけを扱うため、日々の貸出・返却毎に徹底した掃除・点検を行なった「常にベストコンディションのクルマ」だけが店頭並び、メーカーを問わず人気モデルが揃うのも魅力だ。詳しくはHPで。



KAROismからKAROへ「KARO原点から一新」記念キャンペーン

<http://www.karo1980.jp>

最高級オーダーメイドのフロアマットでお馴染みの「KAROism」が、11月1日を以て、そのブランド名を「KARO」に変更した。これにとともに、「KARO原点から一新」記念キャンペーンを開催中。12月25日までの期間中、KAROマットをお買い上げの方全員に「KAROオリジナル携帯ストラップ」をプレゼント。詳しくはHPをチェック!



カストロール EDGEシリーズのHPオープン記念「EDGE-STYLEなキャンペーン」実施中

<http://www.castroedge.jp>

カストロールが、2年にわたって実施した消費者調査の結果と、長年にわたり蓄積されたノウハウを活かして作り上げたオイル「EDGE」シリーズ。そのEDGEシリーズの詳細情報や、多彩なコンテンツで構成されたホームページオープンを記念して、アンケートに答えると素敵なプレゼントが当たるキャンペーンを実施中。詳しくはHPをチェック。



ボルボ・アドベンチャー2007 日本語ウェブサイトオープン

<http://volvocars-jp.com/html/volvo-adventure/>

ボルボ・アドベンチャーとは、世界的な子供向けの環境活動コンテスト。学校やコミュニティで環境を良くする活動に取り組んでいる、10~16歳の子供2~5人と大人1人で構成したチームで、その環境活動の様子を英文レポートにまとめてインターネットから応募する。選ばれた上位10チームは、ボルボの故郷スウェーデンにご招待。詳しくはHPで。



フォルクスワーゲン・ディーラー・パフォーマンス・コンテスト2006開催結果発表!

<http://www.volkswagen.co.jp>

このコンテストは、各部門毎に日常業務の習熟度を競い合うもので、当日は全国の予選を勝ち抜いた36名で争われた。サービステクニシャン部門にDUO厚木の堀口裕司氏、セールス部門はVolkswagen横浜南の井上龍介氏、アドバイザー部門はVolkswagen東京調布の坂本直樹氏が優勝した。こうしたコンテストを通じ、さらなる顧客サービスの向上を図る。



HUMMER H3 ウィンター・ドライブフェア開催

<http://www.hummer.mitsui.co.jp>

ハマーの正規輸入販売を手がける三井物産オートモーティブでは、来る12月9日(土)、10日(日)に全国のハマー正規販売店にて「HUMMER H3 ウィンター・ドライブフェア」を開催。試乗された先着50名(各店舗)にオリジナルキャリーケースをプレゼントする。さらに本誌読者10名に特製ボールペンをプレゼント。希望者は編集部までおハガキで。



ローソン限定「ランボルギーニ軌跡の名車コレクション」キャンペーン開催

12月19日よりローソン限定で「ランボルギーニ軌跡の名車コレクション」と題して、対象となる缶コーヒー2缶に1個、ランボルギーニのミニカーがついてくるキャンペーンが実施される。車種は350GT、ミウラP400、イオタSVR、カウンタックLP400、カウンタックLP500S、ディアブロ、ギャルドの全7種類。☎キャンペーン事務局 ☎0120-553-598

ブランド名の 原点回帰を通して、 カロの魅力 あらためて強く アピールしたい

60

min.
Interview

今回インタビューさせていただいた高橋晴邦氏は、'60年代後半から'70年代前半にトヨタのワークスドライバーとして輝かしい成績を残した天オドライバーとしても有名。そんな同氏が率いるカロが、ブランド名を変更して新たなスタートを切った。

構成 | 川本裕介 | Y.Kawamoto (本誌)

フォト | 宮門秀行 | H.Miyakado

問い合わせ先=カロ ☎03-3372-6340

<http://www.karo1980.jp>



KARO CO.,LTD

President

Mr. Harukuni Takahashi

株式会社カロ 代表取締役社長

高橋晴邦氏



上/カロは受注生産方式を採るため、販売店にはこのようなサンプルが置かれることが多い。実車への装着イメージをユーザーへ伝えるため、同社のホームページではユーザーから投稿された装着例を数多く掲載している。右下/高橋氏はトヨタのワークスドライバーとして、最高峰のレースで数々の栄冠を勝ち取ってきた。かつては新聞などで採り上げられることも多々あったという。レースで学んだ、ビジネスにも共通していえることは、「勝負は最後まで諦めないこと」だそう。左下/左手に持つのが新たに「KARO」としたブランドのエンブレム。右手に持つのは、'97年12月から'06年10月末まで使ってきた「KAROism」。より多くの方に認知されるブランド名へと、原点回帰を図った。



シザル麻を織り込んだチェック柄のフロアマットでお馴染みのカロが、ブランド名を変更するという。'80年の設立当初はカロの名で展開していたが、'97年にブランド名をカロイズムに変更。そして'06年11月1日、ブランド名は再びカロに戻された。その理由とはいったい何なのか? 代表の高橋氏に話をうかがった。

「インターネットなどでの統計を見ても分かるのですが、当社製品は「カロイズム」よりも「カロ」として認知されている方がとても多いようなんです。今回ブランド名を戻そうと思ったのは、ブランド名の原点回帰を通して、カロの魅力あらためてユーザーに強く訴えかけ、新たな気持ちで販売に結びつけていきたいと思ったからです」

なによりもまず、品質への強いこだわりを持つカロには、こんなエピソードがある。

「3年前ほど前、マットの縁に使う緑テープというものがあるのですが、誤って一部の試作テープが工場の生産ラインに流れてしまった時期があったんです。品質的に問題があったことから、商品を購入されたお客さんに数カ月間

案内を出して、緑テープを交換する旨をお伝えしたんですよ」

「たかがアフターマーケットのマットメーカーが、と思われるかもしれませんが、こちらのミスで不具合のある商品を、そのままユーザーにお渡ししておくわけにはいきません。全部で2000人くらいの方に案内を出したでしょうか。その頃は、ちょうど某自動車

メーカーがさかんにリコールを出していた時期だったんですが、インターネットのブログに、そのリコール記事とひっかけて「カロがリコール(笑)、緑テープ交換してくれるよ」と書き込まれてしまいました(笑)。これはまあ、半分シャレみたいなものなんですけどね。でも、当社にご返送いただいた2000〜3000人くらいの方のマットについては、すべて緑テープを交換して再納品させていただきました。この時の対応は、多くのユーザーの方から高く評価していただいています」

企業が生き残っていくためのユーザーからの信頼、そして品質と安心感というものを、今後も大切にしていきたいと強く語る高橋氏。来年春季には新製品もリリースされる予定なので、どうぞお楽しみにとのことだ。